

新型コロナウイルス感染症対応の振り返り（5類移行まで）【概要版】

1 コロナ対応の変遷

| 国の動向 | 本市の動向 |
|--|---|
| R2. 1. 15 国内1例目を確認 2. 7 指定感染症に指定（政令） 2. 25 対策の基本方針を策定 4. 7 国が初めて緊急事態宣言を発出 5. 4 国の専門家会議が「新しい生活様式」を整理 | R2. 1. 14 市ホームページに予防方法を掲載し、啓発を開始 1. 30 市衛生研究所でPCR検査を開始 2. 2 県等と共同でコールセンターを設置 2. 26 新型コロナウイルス感染症対策本部を設置 |
| R3. 2. 13 新型インフルエンザ等感染症に位置付けられる。 2. 17 医療従事者へのコロナワクチン先行接種開始 4. 1 国がまん延防止等重点措置を公示 7. 23 東京オリンピック・パラリンピック開催 | 3. 6 本市1例目を確認 R3. 1. 28 外出制限下にある患者等への支援として、自宅療養パックの配送を開始 4. 16 市民へのコロナワクチン接種の開始 |
| R4. 9. 26 感染者の報告対象を4類型に限定 R5. 3. 13 マスク着用が個人の判断に委ねられることが決定 5. 8 コロナ感染症が5類感染症に移行 | R4. 9. 26 重症化リスクに応じた疫学調査の実施 R5. 5. 8 5類移行に伴い、疫学調査や日々のプレスリリース等、様々な対応を終了 |

2 本市の取組等

| 区分 | 主な取組 |
|--------------|--|
| 患者等への対応 | <ul style="list-style-type: none"> リアルタイムPCR機器の増設など検査体制の充実 患者の重症度に応じた療養先の決定・調整 感染防護措置を講じた専用車両による患者搬送体制の整備 感染者数などの感染状況に応じた積極的疫学調査の実施 アプリやSMSを活用した効率的な健康観察の実施 |
| 発生予防・まん延防止措置 | <ul style="list-style-type: none"> 関係課と連携した、高齢者施設や事業所等への感染対策に係る指導等 集団接種会場などにおけるコロナワクチン接種の実施 |
| 市民への啓発・相談受付 | <ul style="list-style-type: none"> マスク着用や3密対策を始めとする感染対策の啓発等 市HPやSNS等を活用した感染者数やウイルスのゲノム解析結果等の公表 24時間対応のコールセンターの設置などによる相談体制の整備 |

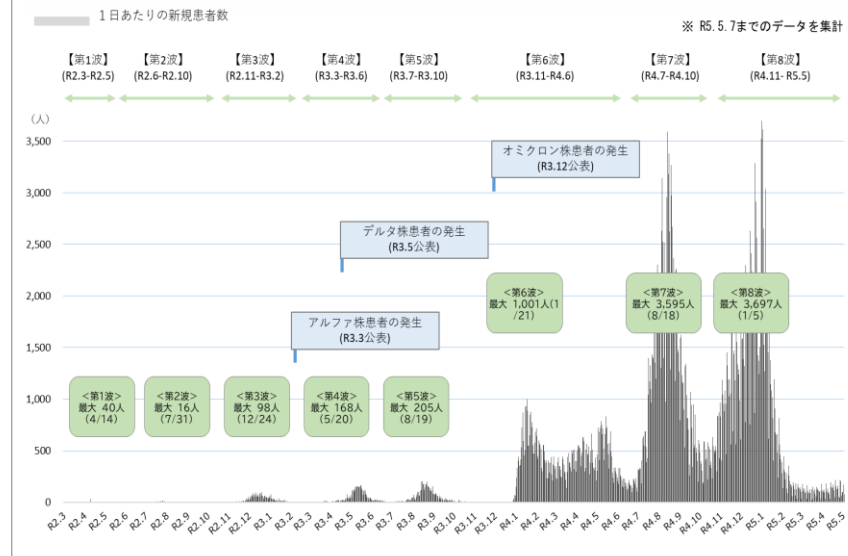
感染者の迅速な把握と、それによる適切な医療の提供、健康観察等の支援が可能となるなど、結果として、他の指定都市と比較し、人口当たりの死亡者数を抑えることができた。

3 課題と今後の対応

新型コロナウイルス感染症対応の振り返りによって得られた主な課題については、次の3つの区分に分類された。これらの課題については、現在策定中の感染症予防計画等に対応策を位置付け、今後の新興・再興感染症の発生に備える。

| 区分 | 主な課題と対応 |
|--------------------------|--|
| 感染状況に応じた相談、検査、調査等の体制整備 | 課題 ・感染者数が急増した際における相談受付や検査体制等のひっ迫への対応 対応 ・専用相談窓口の早期設置に加え、検査試薬やマスク等の備蓄に努める。 |
| 情報収集と分析体制の整備、正しい知識の普及・啓発 | 課題 ・患者発生状況や疫学調査結果等の迅速な収集・分析 対応 ・感染症等に係る誤った情報による患者等への偏見や差別の防止 ・国・県等との連携により、迅速な情報の収集・分析体制を整備する。 ・効果的な広報を行うことにより、正しい知識を普及・啓発する。 |
| 人員体制の整備、職員の人材育成 | 課題 ・有事の際における応援職員の確保や効果的な配置等の支援・受援体制の整備 ・疫学調査等の専門的な業務や応援職員の統括を行うことのできる人材の不足 対応 ・全庁的な支援体制を整備するとともに、応援職員の従事業務を明確化するなど、保健所等の受入れ態勢を整備する。 ・専門的な訓練や業務を統括する職員への研修を実施するなど、広く人材を育成する。 |

（資料1）コロナ患者数の推移



（資料2）他指定都市との比較（感染者数・死亡者数）

